

（その1）

## 特定工程に係る工事監理における確認報告書

工事監理における確認状況の報告（木造在来軸組工法編）

事 項	確認を行なった部位、材料の種類等	照 合 内 容	照 合 方 法			照 合 結 果	備 考
			A	B	C		
支持地盤の種類・地耐力	地 盤	1 支持地盤の確認 確認方法（ 目視 サウンディング等 載荷試験）				適・不適	
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む）の種類、品質、形状及び寸法並びにそれら材料の接合状況、接合部分の形状等	基 礎	2 基礎の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。 3 基礎に耐力上問題となる不良箇所がないか。 4 床下換気口、又はこれに替わるものが適正に設置されているか。				適・その他（ ） 適・不適 適・不適	
	土 台	5 土台に耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 6 土台の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。 7 アンカーボルトは適正に配置されているか。				適・不適 適・その他（ ） 適・不適	
	柱	8 柱に耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 9 柱の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。 10 柱に断面の3分の1以上の欠込みがある場合は補強されているか。 11 ホールダウン金物の使用位置、止め方は適正か。 12 1階の柱の上下は木拵め等で緊結されているか、又は小径が135以上か。 13 隅柱は通し柱か、又は同等の金物で補強されているか。				適・不適 適・その他（ ） 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
	筋かい等	14 筋かいに耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 15 筋かいの部材寸法等は設計図書どおりか。 16 筋かいに欠込みがある場合は補強されているか。 17 筋かい端部は木拵、かすがい、釘等の金物で緊結されているか。 18 耐力壁の材料の規格、厚さ、釘、釘間隔等は適正か。 19 筋かい、耐力壁の位置、釣り合いは適正か。				適・不適 適・その他（ ） 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
	火打材	20 火打材に耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 21 火打材が床組及び小屋はり組の隅角部に設置してあるか。				適・不適 適・不適	
	横架材	22 梁、桁その他の横架材に耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 23 梁、桁その他の横架材の中央部付近下側に耐力上支障ある欠込みはないか。 24 梁、桁の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。				適・不適 適・不適 適・その他（ ）	
	床組、小屋組	25 床組材、小屋組材に耐力上欠陥となる節、腐れ等がないか。 26 小屋組に振れ止めがあるか。 27 床組剛となるものについては設計図書どおりか。				適・不適 適・不適 適・その他（ ）	
	その他	上記並びにその他設計図書に指定されているものと変更はないか。				変更無し 変更有り	

[ 照合方法 A：実物の目視 B：実物の計測 C：施工関連図書の確認 ]

工事現場での表示	確認表示板	表示の有無について				適・不適
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	接道の長さ 道路後退 高低差	2m ( )m 後退(有・無)*有の場合(後退済・後退未完) 変更(有・無)				適・不適 適・不適 適・不適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	建物配置 壁面後退 建物高さ	変更(有・無) 地区計画(有・無) 高度地区(有・無) 絶対高さ 道路斜線 隣地斜線 北側斜線				適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適
構造耐力上主要な部分の防蟻、防蟻措置及び状況	地上1m以内の部分	防蟻、防蟻処理してあるか。				適・不適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上の材料の種類及び厚さ						
開口部に設ける建具の種類及び大きさ						
建築設備に用いる材料の種類並びにその照合した内容、構造及び施工状況(区画貫通部の処理状況を含む)						
照合を行った設計図書	申請図面 構造計算書 公庫仕様書 その他の図書( )					
設計図書の内容について設計者に確認した事項						
建築主に対して行った報告の内容						
備考						

【記入上の注意】

- 「照合内容」欄に該当しない項目がある場合は、=線で消してください。
- 「照合結果」欄が「その他」となる場合は、その仕様、寸法等を( )内に記入してください。
- 欄は、記入しないでください。